

第7回カンファレンス開催レポート

日時：2019年11月8日（金）16:30～21:00
場所：さっぽろテレビ塔 すずらん・はまなすホール
参加者：報道関係者、経営者、学生 約80名

北海道の価値を最大限にいかし、愛をもって人財・ビジネスを育てる 中小企業の採用・後継者育成を応援するカンファレンス全国ツアー 第7弾

ちさんちさい
地産地採

「Charming Chairman's Club TOUR 2019 in 札幌」 (チャーミング・チェアマンズ・クラブ・ツアー) ～令和の愛されるリーダーとは～

主催：  社長チップス メディアパートナー：  Forbes 後援：  北海道新聞

おやつエンタテインメント製造会社、株式会社ESSPRIDE（所在地：東京都渋谷区、代表取締役CEO：西川 世一）は、「Forbes JAPAN」（リンクタイズ株式会社、取締役社長：角田勇太郎）をメディアパートナーに、後援に北海道新聞社（代表取締役社長：広瀬兼三）を迎え、2019年11月8日（金）、全国各地で行う社長と学生のカンファレンス「Charming Chairman's Club TOUR 2019（チャーミング・チェアマンズ・クラブ・ツアー2019）」を札幌で開催しました。カンファレンスではメインテーマである「令和の愛されるリーダーとは」を軸に、株式会社クリエイティブオフィスキューの伊藤亜由美社長が「ストーリーあるプロデュース～北海道における人づくり・モノづくり・地域づくり～」をテーマに講演。また、トークセッションでは「多様化する雇用の中で求められる組織と人づくり」や「地域活性化を見据えたビジネス展望とリーダーシップ」、「学生が語る、求めるリーダー像」などのテーマのもと、北海道で活躍する社長や学生によるトークセッションが行われました。トークセッションでは、社長のビジネスや人材教育に対する考え方の中に『自分が楽しむ』という共通点がありました。また現地に行って、自分の目で見て確かめることを重視するスタンスは人材育成においても同じで、一人ひとりの社員に愛情を持って向き合う姿勢が印象的でした。北海道ならではの価値を最大限にいかしながら、大自然のように愛情深い社長が学生に熱意をもってメッセージを伝えていた様子が印象深い札幌開催の様子をご報告します。



■ Charming Chairman's Club TOUR 2019 とは

全国の中小企業の採用ブランディングや後継者育成に効果的な発信を社長に呼びかけ、社長の学び、ビジネスマッチング、学生との交流の機会を創出したいとの強い思いのもと「社長チップス」が企画しました。

カンファレンスとして社長や学生が参加し、各地域の社長によるプレゼンテーション、「令和の愛されるリーダーとは」をテーマに掲げた時代を牽引するリーダーによる講演やトークセッション、懇親会などの内容で行うもので、7月に開催した東京・銀座のカンファレンスを皮切りに、福岡、仙台、福井、大阪、名古屋と続き、今回札幌の後も年内に広島、埼玉、沖縄、千葉、そして最後のファイナルを東京で展開。地域で活躍する社長を学生と繋ぎ、その地域で育ち学んだ地域に縁ある学生の積極的な採用「地産地採(ちさんちさい)」を応援します。

またメディアパートナーとして Forbes JAPAN を迎え、誌面掲載などを通して広くアプローチするとともに、エリアパートナーとして各地の新聞社を迎え、若い世代と社長同士の交流を促進することで地域活性化の実現を目指します。

■ Charming Chairman's Club TOUR 2019 in 札幌 開催レポート

日時：2019年11月8日（金）16:30～21:00
場所：さっぽろテレビ塔 すずらん・はまなすホール（北海道札幌市中央区大通西1丁目）
参加者：報道関係者、経営者、学生 約80名

■主催者挨拶



株式会社 ESSPRIDE 代表取締役 CEO 西川 世一

「僕たちは『Charming Chairman's Club TOUR』と題し、全国を廻りながら魅力的な経営者を発掘、今回は札幌を訪れ、より多くの人に知っていただく取り組みを行っています。この TOUR をはじめた経緯をお話ししますと、僕は会社を設立して 15 期目ですが、元々は父のダンボール紙器の会社の跡継ぎから始まりました。当時は現在のような事業を展開しているわけではなく、社員が 1~2 名、パートが 3~4 名の小規模な会社。優秀な若者は集まらないし、このまま経営してもほとんどの人に知ってもらえないのではないかと感じていました。その時のもどかしい気持ちから、全国の中小企業の社長自身が熱い想いを届けられるサービスを生み出し貢献したい！と考えたのが『社長チップス』です。全国には多くの人に紹介したい素晴らしい会社、面白い会社があるのに、若者は知るチャンスがありません。僕たちはこのプロジェクトを通じて未来を創っていく若者に、魅力溢れる経営者をどんどん紹介したいと思っています。様々な地域で後継者不足による黒字廃業がたくさんある中で、このカンファレンス TOUR を通して、社長と若い世代を繋げ、より多くの会社とその社長の声を多くの学生に伝え、少しでも課題解決に繋がるよう取り組んでいきたいと考えております。」

<Keynote>

1 部

テーマ「ストーリーあるプロデュース～北海道における人づくり・モノづくり・地域づくり～」

株式会社クリエイティブオフィスキュー 代表取締役 伊藤亜由美 氏

「オフィスキューは 1992 年に私とタレントの鈴井貴之の 2 人で起業し、1996 年に『水曜どうでしょう』という番組を通じて、大泉洋をはじめとした劇団である TEAM NACS と出会いました。2000 年頃から私が TEAM NACS のプロデュースを始め、学生演劇の延長だったものを会社として、マネージャーとタレントが相互に支えあろうと目指しました。

そして、2004 年の 10 作目の舞台をきっかけに、エンターテインメントの中心となっている東京を知り、会社としてのレベルアップを図る目的で、東京の大手芸能事務所と業務提携を行い、初めての東京公演を実施しました。ちょうど 2000 年頃からこれからテレビは地上デジタル放送になる、今後地方の放送局って存在し続けるんだろうかという不安もあり、将来のために彼らは一度東京に行って役者としてスキルアップし、役者としての人脈を作る。我々プロデューサーは東京でマネジメントの勉強をし、アライアンスを通して社員の育成という部分も見据えて学ばせてもらおうというのが業務提携で狙っていたことです。でもポリシーを持ってやろうと決めていました。『北海道のお客様を大切にすること』という点でいろいろと条件を出させていただいたんです。まずメンバーが北海道でやっているバラエティ番組はやめない、そして東京ではバラエティ番組をやらない、ということをお願いしました。あと、北海道のタレントと TEAM NACS に言わせてください、ということ。ちゃんとそれをブランドとして持たせてくださいと、最初の段階でお願いして、15 年経ちますが、とてもいい関係で仕事をさせてもらっています。

東京で様々な学びをしていく中で、『北海道にきちんと根付いたコンテンツを作りたいな』、『こだわったものを作りたいな』と思った時、東京とは違う『一次産業』と『食』という北海道の素晴らしさに気づきました。そして、次世代を担う子供たちに『北海道の生産者』の身近な声や想いを直接体感してもらおう。家族で出かけ実体験してもらおうという、『予算や人材があっても東京では作れない、北海道でなければできない番組を。』という想いを込めて番組を企画しました。こだわりは、家族でテレビを見られる土曜の 17 時からの放送にしたこと。番組を見て、家族で食卓を囲んで、食について・農業について話すというのを土曜の夜にやってほしい、そして日曜日にちょっと出かけてみようかと、子どもたちを農場に連れて行って、実体験させてほしいからです、北海道は車で 30 分行けば、畑も酪農場もありますから。

そして、2012 年に、その土地に生きている『人』が見え、『ものづくり』が見える、とにかくその土地とモノを愛している人たちがギュッと詰まったコンテンツを作りたい、ビジネスとしての成功はもちろん、北海道の人たちと作って、北海道に残せるものという想いで映画製作をしました。さらに、作品の中に北海道の価値を詰めこむため、企業や作家、生産者の方にも協力していただいて、映画の中に北海道の商品をたくさん出しました。商品を提供して下さった生産者さんは映画を宣伝して下さいましたし、そうやってお互いに PR をして WIN-WIN の関係で北海道を盛り上げていこう！というコンセプトでやりました。

我々は今後も『北海道の可能性』を、コンテンツを通して、タレントを通して、伝えていく役割だと思っていますし、続けていきたいと思っています。

若い世代の人たちは住んでいると気が付かないかもしれないけど、北海道って本当に素晴らしいところなんです。素敵な経営者もいっぱいいますし、北海道のいいところ探をいっぱいして、いっぱいビジネスチャンスをつかんでほしいです。」



<Talk Session>

1部

テーマ「多様化する雇用の中で求められる組織と人づくり」

登壇者：株式会社タフスコオペレーション 代表取締役社長 田村準也氏
 株式会社山本忠信商店 常務執行役員 経営企画室長 池内幸介氏
 マスコスモ合同会社 代表取締役社長 川口洋史氏
 株式会社まちづくり観光デザインセンター 代表取締役社長 / 地域プロデューサー
 かとうけいこ氏（ナビゲーター）



札幌すすきのを中心に多数の飲食店を経営し、自ら現場へ行き『愛』を持ってスタッフを育成する田村社長、豆類の加工製造企業で採用を担当する観点から、社長の右腕になるつもりで頑張れと学生を激励してくださった池内常務、持続可能なホタテ養殖に取り組み、従来の『背中を見て覚える』式ではなく正面から向きあう人材育成を行う川口社長の3人に、社員教育や関係構築など組織と人づくりにおいて重視していることをお話いただきました。

**株式会社タフスコオペレーション（北海道） 代表取締役社長 田村準也氏**

「弊社は北海道の海産物や農作物などの食材を仕入れさせていただき、お客様に提供しております。『おいしいものを食べて飲んでいただく』をコンセプトに、ただ飲食の場を提供するだけでなく、『情報発信』、『コンテンツ発信』といった立ち位置で考え店舗展開を行っています。

『口の中に入るものだけ。それ以外やらない』という思いを持って、飲食店や他業種展開も進めていく中で意識していることは、『社員と一緒にビジョンを共有しながら、一つ一つの行動とかに対して腑に落ちるようにコミュニケーションを取っていく』ということです。

少し厳しいこともある飲食業界で人材育成をしていくうえで、常に頭に入れていることは、『やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ』です。この言葉の“順番”がすごく大切だと思っていて、まずはきちんと伝え、現場に行ってみて、小さな成長を見てあげること一番気を付けています。

愛されるリーダーになるのではなく、人を求め続けて愛し続けられれば、必ず人は愛してくれるなと思います。事業においても、本気でお客様を愛して地域を愛せば、おのずと道は開けるなと。愛が大切だと思います。」

**株式会社山本忠信商店（北海道） 常務執行役員 経営企画室長 池内幸介氏**

「豆類を生産者の方に作っていただき、作っていただいたモノを預かり製品にしていくのが主な仕事です。『つくるを食べるのもっと近くに』ということをモットーに、食品メーカーの方を畑に招待し、料金の話までその場でするなど、農業をガラス張りにすることが、十勝の農業全体のためになるのではないかと思います。」

弊社で活躍する人で多いタイプは、コミュニケーション能力はそんなに高くないがよく笑う人だと感じております。会社の方針として、新入社員は、最初の3～5年間、生産者向けの営業を行います。そこで、生産者である農家の方とよく話をする機会を設けています。現在では、畑の様子まで話すことができる営業マンがいることがいるというのが、私たちの会社そのもので、強みでもあります。

以前は社長自ら採用の場に出てくるという方式をとっていましたが、現在は、最も社員や会社のことを理解している部署ということで、私のいる経営企画室という部署で採用活動を行っています。

愛されるリーダーになるためには、『社長は馬鹿みたいに夢を語る』が一番大事なのかなと思っています。そこに対して、しっかりとコミュニケーションをとり、夢を共有し、それを実行できる右腕がいることが重要だと考えております。いい夢語っている社長の方は多いのですが、実際に形にするのは思いだけでは困難なこともあります。若者たちは『社長の右腕になるつもり』で、『将来的に社長の後を継いでやる』という気持ちで頑張るといいと思いますよ。」

**マスコスモ合同会社（北海道） 代表取締役社長 川口洋史氏**

「ホタテの町といわれるくらい、ホタテで有名な常呂町で、常呂町のホタテをPRしていきたいと思いながら、ホタテの養殖をしています。そして、現在はただ漁業者の収入を伸ばし、利益を上げることだけを考えるのではなく、少しでも将来のことを考え、地域に投資をすることが、持続可能な漁業を作るうえで重要なことだと考えています。また、『ただ利益を追うだけでなく、もっと本質的に大切なものもあるよね』ということも、事業を通して体現化し、これからの若い世代に関心を持っていただけるように頑張っているところです。」

人材育成という面では、漁業の教育のイメージである『下っ端として雑用をしながら見て覚える』といった非効率的な従来の教育ではなく、まずは、とにかく座学で、網の仕組み等を陸（おか）で学ぶ機会を与えることで、実際に海に行った際の理解力を上げることを意識して行っています。1つ重要なこととして、『できない人、うまくいかない人がいたら、その責任は社長にある』という意識だけは変えないようにしています。そして、本気で楽しく仕事をしている姿を見せるということが大事かなと思っています。

僕らの会社の経営理念である『ちょっとのいいお魚と素敵な音楽と大好きな友人がいたら、それ以上の幸せなことはないよね』ということ、北海道だからできる多くのことを実現していくことで、楽しんでいきたいと思っています。そして、それはすごく楽しいはずということが若者の皆さんに伝わればいいなと思っています。」

<Talk Session>

2部

テーマ「学生が語る、求めるリーダー像」

登壇者：北海道大学 法学部 4年 朝生樹さん

小樽商科大学 商学部 商学科 4年 八幡袖衣さん

株式会社まちづくり観光デザインセンター 代表取締役社長 / 地域プロデューサー
かとうけいこ氏 (ナビゲーター)

大学生として学生団体やプロジェクトリーダーを務める二人に、就職活動を経て、どんな社長や企業に魅力を感じるかや、若い力を必要としている社長が優秀な学生にアプローチするにはどんな働きかけや姿勢が求められているのか語っていただきました。



北海道大学 法学部 4年 朝生樹さん

「大学では地方自治論のゼミで北海道を自治の側面からどう盛り上げていくかというテーマに取り組んでいます。『ほぼ日刊イトイ新聞』に掲載されたインタビューで六花亭製菓の亭主が『会社というのは何よりも続けることが素晴らしい。よく言う“100年に一度の不況”というのを、500年も続いている【とらや】は5回も乗り越えてきている。その厚みはすさまじい』と話されていて、波がある中でも地域に根差して会社を続けることで、会社で働く人も地域に住む人も幸せになるという考え方を持ったカッコいい大人が北海道にもいるんだなって感動しました。

就職活動での思い出は、新橋のおじさまに悩み相談をしたことです。僕は東京でも就職活動をして、ある時面接でスタボロになって、新橋の立ち飲み屋に行っただけです。たまたま隣り合ったおじさまに、面接で緊張してうまく話せないことや人生相談をいろいろ聞いてもらいました。その方に自分の思いの伝え方をアドバイスしてもらえたおかげで、その後の面接ではすらすら話せるようになったので、すごく感謝しています。

同じように企業の採用活動の中でも、学生は『社長』、『面接』という身構えてしまいますので、立ち飲みスタイルで、『自分はこういうことに悩んでいるんですけど人生の先輩としてどう思うか教えてください』、って聞けるようなサロンがあればいいなと思います。」



小樽商科大学 商学部 商学科 4年 八幡袖衣さん

「採用面接で『自己分析をしてください』とか、『自己PRをしてください』とよく言われましたが、就活が終わった今でも、自己分析って何だったんだろうと思っています。正解のある質問ではないですし。私は『これがやりたい』という想いを聞いてくれたり、企業側からもコンタクトをとってくれたりすることを素直にうれしく思いました。親身になって話を聞いてくれる企業はいいなと思います。

企業から学生へのアプローチとして、定期的にHPの更新をする、説明会の回数を増やす、など接点を多くすることが重要だと思います。私も面白そうな会社だと思っても都合が合わなくて説明会に行けず悔しい思いをしたことがあります。また、大学と提携して講義のような形で社長がお話されるような取り組みをしたりすると、多くの学生と接点を持つのでいいのではないかと思います。」

Charming Chairman's Club TOUR 開催にあたり、経済産業省 大臣官房 商務・サービスグループ参事官 佐々木啓介氏から激励のお言葉をいただきましたのでご紹介します。

<経済産業省 大臣官房 商務・サービスグループ参事官 佐々木啓介氏 激励のご祝辞>

(2019年7月23日開催、第1回 Charming Chairman's Club TOUR 2019 東京・銀座カンファレンスにて)



社長のみなさんは肌で感じていることと思いますが、日本経済と企業活動を取り巻く環境は日々ものすごいスピードで大きく変わっています。

現在は労働生産性向上が大きなテーマですが、アメリカでも日本でも、勢いのある新規上場企業と比べて既存上場企業の国全体の生産性向上への貢献が大きくなってきています。

つまり既存企業であっても従来のやり方や考え方にとらわれずに挑戦する気持ちがあれば、まだまだ変化や成長ができるということです。例えばこれからの消費・経済を担う若者と意見を交わし、変化していくということは、企業経営者にとっては挑戦でもあるかもしれませんが重要なことです。

企業経営者の方々が発信し、傾聴し、「世の中を大きく変えるんだ!」という若者のハートを捕まえて、大きく成長していただく。これが、令和の時代の新しい成長モデルなのではないかと、私は確信しております。

Charming Chairman's Club の取り組みは本当に素晴らしく、これから TOUR として全国で地域に密着した取り組みを行っていくことも大変意義深いです。やはり地域が元気にならないと日本も元気がならない、日本が元気でないと世界も元気になりません。地域の元気な、Charming な CEO の方々にますます活躍いただく、この取り組みを応援したいと思います。

<Talk Session>

3部

テーマ「地域活性化を見据えたビジネス展望とリーダーシップ」

登壇者： 互信ホールディングス株式会社 代表取締役社長 平島誉久氏
株式会社エーデルワイスファーム 代表取締役社長 野崎創氏
株式会社プレミアム北海道 代表取締役 / 株式会社北海道チャイナワーク
代表取締役社長 張相律氏
株式会社まちづくり観光デザインセンター 代表取締役社長 / 地域プロデューサー
かとうけいこ氏（ナビゲーター）



タクシー事業で『当たり前』の思いやりを徹底し、周りを巻き込むコミュニケーションを大事にしているという平島社長、
ハム・ベーコンの製造工場を継承し経営する中、現地に行って人と話すことによるインプットを心がけているという野崎社長、
観光事業と海外インバウンドのサポート事業で北海道の魅力を伝えて世の中に『幸せ』を届けたいという張社長の3人に
北海道の活性化を見据えたビジネス展望とリーダーとしてのコミュニケーションについてお話をいただきました。



互信ホールディングス株式会社（北海道） 代表取締役社長 平島誉久氏

「私は全社員に『当たり前』の事を当たり前にするように言っています。例えば、道に落ちていたごみを拾うとか電車で座席を譲る気持ちを持つとか。弊社は福祉タクシーもやっていますが、車いすの方はご自分から助けてほしいとはなかなか言いません。自ら、当たり前のように手助けができるようになることを社員教育では重視しています。私が経営者として大事にしていることは『Change、Challenge、Competition、Communication』の4Cです。『変化をおそれない、挑戦する、競争し合う、周りを巻き込む』。周りが一緒にやってくれないと、大きなことは成し遂げられませんから。

地元の学生さんに向けてアプローチするには、北海道の企業はもっとブランド力を発信していけないといけないと思います。企業の想いを学生さんたちの心にも届けることができ、この会社で働きたいと思わせるものっていうのは、培ってきたブランドだと思うんです。当社もブランド力を今後磨いていきたいと思っています。」



株式会社エーデルワイスファーム（北海道） 代表取締役社長 野崎創氏

「15年前、人前で話をするのが苦手で、物産展に出て人と交流することのなかった私を変えてくれた出会いがありました。大手食品メーカーの顧問や従業員が7000人もいる物流会社の代表を歴任した方と、ひよんなことから1日一緒に過ごしたことがあるんです。素性や身分を知らないまま。彼から頂いた言葉は『ご縁が大事』。あともう一つ、『二次情報じゃなくて一次情報』。人と直接会うこと、現地に行くこと。僕はこれをずっと心がけていて、例えば海外旅行にツアーではなくチケットとホテルだけ手配して行って、現地の方に話を聞いて、知識や経験や教養を深める機会を設けています。学生さんにも、今はインターネットでも情報は手に入りますが、それは本当に一部なので、ぜひ現地に行って直接人と会う機会を作ってほしいなと思います。」



株式会社プレミアム北海道（北海道） 代表取締役 / 株式会社北海道チャイナワーク（北海道） 代表取締役社長 張相律氏

「私はまず社員に幸せになってもらいたいというのが一番の想いです。幸せになる方法も形もたくさんあって、みんな同じ方法ではありません。ですから、まず自分の幸せな姿を社員に見せて、同じように幸せになってもらえれば良いなと思っています。幸せの形は人それぞれですが、できれば、会社の中ではみんなが同じ考えを持っている。それが私の目指すリーダーシップだと思っています。私は北海道に住んでいて、北海道が好きで、北海道を満喫しています。北海道のライフスタイルを楽しむことが私の幸せで、こんなに素晴らしい北海道のライフスタイルを海外に発信することもまた私の幸せです。それが社員にも伝わって、みんなも幸せになって、海外に向けて北海道の暮らしは幸せだぞって胸を張って言ってもらえるようになればいいなと思っています。」

■今後の Charming Chairman's Club TOUR 2019 開催スケジュール

【沖縄】12月6日（金）16:00～21:00 琉球新報ホール （沖縄県那覇市泉崎1丁目10番3号）

【千葉】12月9日（月）16:00～21:00 船橋グランドホテル B1F 芙蓉の間
（千葉県船橋市本町7-11-1）

【東京 FINAL】：12月13日（金）16:00～21:00 恵比寿ガーデンルーム
（東京都渋谷区恵比寿4-20）

※その他の詳細は Charming Chairman's Club TOUR 公式サイトにてお知らせさせていただきます。



<Charming Chairman's Club TOUR 2019 公式サイト>

<http://charming-chairmans-club.com/tour2019/>

■Charming Chairman's Club (チャーミング・チェアマンズ・クラブ) とは

激動の日本経済を支える、数多くの中小企業。

そこには、必ず情熱に溢れた社長たちのストーリーがあります。

Charming Chairman's Club (CCC)は、全国47都道府県から魅力ある経営者を発掘し、

事業の功績や人柄を広く世に伝えるとともに、イベントなどを通して社長同士、社長と未来を担う学生とのインタラクティブなコミュニケーションの場を創出し、更なる飛躍を応援しています。

今年4月10日に初開催したアワード“Charming Chairman's Club CHAMPIONSHIP 2019”（チャーミング・チェアマンズ・クラブ・チャンピオンシップ 2019）では、全国の社長の中からチャーミングな社長 No.1 を大学生が選び、この社長と一緒に働きたいという観点で BEST100、FINALIST5、そして CHAMPION 社長が選出されました。

<<http://charming-chairmans-club.com/championship2019/>>

来年2020年4月10日（金）には第2回の CHAMPIONSHIP 開催が決定しています。



■主催「社長チップス」とは

「社長チップス」は、全国の社長が所属する社長プロダクションを目指しています。

社長をカード付きポテトチップスにしたり、社長の人柄や人生が伝わる詳細な情報を WEB 掲載することにより社長のファンを増やす様々な取り組みを企画しています。

「社長」×「ポテトチップス」という異色の組み合わせから注目を集め、これまでに500以上のメディアに登場。発売開始から約3年で400名以上の社長が参画しています。

全国の社長を支援することによる地域経済活性化を目指し、社長や学生の交流会、イベントの開催、メディアコンテンツ制作など、社長のプレゼンテーションプラットフォームとしても様々なコンテンツを提供しています。

チップスの種類は2016年4月に発売した「汗と涙のCEO（塩）味」からはじまり、

2019年2月「激辛人生スパイCEO（シーイーオー）味」、5月「このインパクトがクセになる 柚子こCEO（ゆずこしょう）味」と続き、9月に「B.LEAGUE 9CLUB 社長チップス～バスケットにたいCEO 抱け（大志を抱け）味～」を発売しています。



社長チップス公式サイト <http://shacho-chips.com/>

■会社概要

社名 : 株式会社 ESSPRIDE (エスプライド)
所在地 : 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目17-11
代表者 : 代表取締役 CEO 西川 世一
設立年月日 : 2005年4月25日
資本金 : 77,500,000円
事業内容 : おやつエンタテインメント製造業、社長プロダクション運営
HP : <http://esspride.com/>

